

【 ご家族の安否確認の備え 】

ふだんから、自宅・学校・職場の近くや通勤通学途中にある避難所の場所を家族で確認し、共有しておきましょう。避難所の場所は、各市で作成しているハザードマップで確認できます。

また、家族で安否確認の方法を話し合い、災害用伝言ダイヤルや災害用伝言サービス、グループLINEなど安否確認方法の練習をしましょう。

【 新たな防災気象情報 】

8月13日、線状降水帯による大雨で、千葉市で初めて「レベル5大雨特別警報」「レベル5土砂災害特別警報」が発表され、千葉市から【警戒レベル5】特別警報に係る避難指示や緊急安全確保が発令されました。

大雨の影響で鉄道の運休が相次ぎ、平和交通バスも運休、千葉市内では22,000軒以上の停電が発生しました。

今年5月29日から、気象の警報などが大きく変わり、警報・注意報の情報名に「レベル」が付き、例えば、「大雨警報」は「レベル3大雨警報」となりました。これは、避難情報の5段階の警戒レベルの「警戒レベル3に相当する」ことを示しています。

これにより、千葉市から「警戒レベル4避難指示」や「警戒レベル3高齢者等避難」が出されなくとも、避難の判断がしやすくなりました。

スカイタウンは水害に対し安全な場所ですが、令和元年房総半島台風の際のような、突風・竜巻等による飛来物による被害や、送電線の被害による停電やそれに伴う断水が発生する恐れがありますので、防災気象情報をみて備えることが大切です。

スカイタウンは「在宅避難」が基本です。風水害への備えは、地震への備えがそのまま有効です。

5段階の警戒レベルと防災気象情報

気象状況	気象庁等の情報	市町村の対応	住民がとるべき行動	警戒レベル	
災害の切迫・発生	河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮 レベル5特別警報	キキクル 災害切迫	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5
<警戒レベル4までに必ず避難！>					
2時間～0時間程度前	レベル4危険警報	危険	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
数時間～3時間程度前	レベル3警報	警戒	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3
半日～数時間前	レベル2注意報	注意	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置)	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2
数日～約1日前	早期注意情報 (警報級の可能性)		・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	災害への心構えを高める	1

「避難情報に関するガイドライン」（内閣府）に基づき気象庁において作成